55—3・4次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和55年4月

NO. 3

保健衛生・教育文化・スポーツ部門

国際協力事業団
青年海外協力隊事務局

J/333.9
SE
55-2

15107
JICA地球ひろば
'11. 7. 05
ひろばライブラリー

55年3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目　　次

職種	要請数	国名	調査表の有無	ページ
501 医師	2	チュニジア	有	181
502 歯科医師	1	西サモア	有	182
510 看護婦	3	マラウイ	有	183
	1	ホンジュラス	有	184
511 助産婦	2	チュニジア	有	185
	3	マラウイ	有	186
	1	ホンジュラス	有	187
512 保健婦	1	ホンジュラス	有	188
521 臨床検査技師	1	ネパール	有	189
	2	マラウイ	有	190
523 作業療法士	1	マレイシア	有	191
525 薬剤師	1	マラウイ	有	192
550 公衆衛生	1	マレイシア	有	193
	1	西サモア	有	194
605 考古学	2	ホンジュラス	有	195
606 生態学	1	マレイシア	有	196
607 動物学	1	マレイシア	有	197
608 地質学	1	マレイシア	有	198
611 秘書	1	シリア	有	199
615 青少年活動	1	マレイシア	有	200
630 写真	1	ガーナ	有	
650 音楽	1	ホンジュラス	有	201
	3	ホンジュラス	有	202
	8	ボリビア		
	1	ペルー	有	203
660 美術	1	ペルー	有	204
680 日本語	1	チュニジア	有	205
	1	ホンデュラス	有	206
	1	ペルー	有	207
681 理数科教師	1	フィリピン	有	208
	1	フィリピン	有	209
	5	ネパール	有	210
	5	ケニア	有	211
	15	マラウイ	有	212
	1	ホンデュラス	有	213
701 体育	3	ネパール	有	214
	1	ザンビア	有	215
	1	ペルー	有	216
	1	ペルー	有	217
710 陸上競技	1	ネパール	有	218
720 体操競技	1	ネパール	有	219
	1	セネガル		
	1	ペルー	有	220
730 水泳	1	フィリピン	有	221
730 水泳	1	セネガル		
740 卓球	2	チュニジア	有	222
751 バレーボール	1	チュニジア	有	223
	1	セネガル		
	1	ボリビア		
	1	ペルー	有	224
752 バスケットボール	1	ザンビア	有	225
762 重量あげ	1	フィリピン	有	226
770 柔道	1	ネパール	有	227
	2	チュニジア	有	228
	1	モロッコ	有	229
	1	ホンジュラス	有	230
	1	ボリビア		
	1	ペルー	有	231
781 フェンシング	1	ボリビア		
ジョモ・ケニヤッタ大学関係				
10302 野菜	1	ケニア	有	232
115 土壌肥料	1	ケニア	有	233
121 農業機械	1	ケニア	有	234
150 食品加工	1	ケニア	有	235
320 電気工事	1	ケニア	有	236
322 電子機器	1	ケニア	有	237
360 電話交換機	1	ケニア	有	238
403 測量	1	ケニア	有	239
680 日本語	1	ケニア	有	240
681 理数科教師	1	ケニア	有	241
追加要請				
620 プログラマー	1	チュニジア	有	242

※ ガーナからの受入希望調査表は最後に収録されています。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

501 医　　師

記入 昭和 53 年 9 月 20 日

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
テュニジア	(現地公用語) Médecin (Pédiatre, oto-rhino, gynécologue, chirurgien) (日本語) 医師 (小児科、耳鼻科、婦人科、外科のいづれか)	(男) 2 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 54 年 4 月 派遣予定 54 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (略称 M.S.P.)

(日本語): 保健省

ロ. 隊員勤務先名称: 国内各地の国立病院 (hôpital National) または県立病院 (hôpital régional) に配属になるが、決定は隊員の任国到着後、隊員の履歴とその時点でのテュニジア側のニードを勘案して行なう。各病院の規模、内容、程度はそれぞれまちまちであり、一概に良い悪いはいえないが、一般的にいえることは設備は古く、細かい日常の資機材も簡単に入手できるとはいい難い。

所在地:

ハ. 事業規模及び内容

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 隊員の配属先は、隊員派遣時の現地人医師の配置状況、隊員の経験年数、得意な分野等によって左右されるので、隊員の仏文による履歴書を見て後、保健省人事局において決定される。したがって隊員の業務内容について明確に記すことはできないが、おおむね以下のとおりである。

① 隊員の業務上の地位; 医師

② 技術の範囲; イ) それぞれの専門分野の診察、治療および病気予防、ロ) 麻酔師、看護夫(婦)、保母、栄養士等の指導監督。その他医療一般。

③ 業務の形態; 当初はメトサンドラター(専門医・医学博士)やプロフェッサー(科長、若手医師の指導者)の指導の下に業務に従事することになるが、業務が軌道にのった後は、日常の診察、治療業務を行ないつつ、週1日～数回のプロフェッサーの回診に同行し、インターン等の養成等にも協力することになるが、そのためには語学力、技術力が先方に認められなければならない。

④ カウンターパートの技術水準・学歴; ほとんどの医師はフランスで教育を受けて、ヨーロッパ人と同等の医師の資格を有する。技術水準はヨーロッパと同等。テュニス大学医学部出身の医師がすでに各地に配属になっている。

⑤ 職場における外国人; フランス人、ベルギー人、ブルガリア人などの医師が多い。日本、アメリカの看護婦が少数。

⑥ 使用する言語; 記録はすべてフランス語。会話はフランス語とアラビア語であるが、地方の病院では患者との対話はすべてアラビア語になることが多い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国は医師の絶対数が少なく、人口約600万人に対し医師総数は約650名である。保健省はヨーロッパ諸国から各科医師を高給で雇い入れている。この絶対数不足を背景に日本からの各科医師派遣を熱望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(学歴) 大学医学部卒、(取得資格); 医師、(実務経験); 医師資格取得後2年以上 (在学中の実習期間は含まない)、年令不問、

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 1 日

502 歯科医師

調査者氏名 宮崎 隆 (伊藤)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Dental officer (日本語) 歯科医師	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 4 月 受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Health DEPATMENT
(日本語): 厚生省

ロ. 隊員勤務先名称: DENtal DivisioN on National Hospital 日本語名称 (国立病院 歯科部門)
所在地: Apia 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 西サモアの Dental Health Service は、① Central Clinic (APIA) ② School Dental Service ③ Rural Dental Service (ウポル島に2つ — potasi, alipata サバイ島に2つ — tuusiri, fagamalo — Dental clinic がある) の3つのセクションから成り立っている

ニ. 設備概要: Central Clinic は 2年前にできた新しい建物で、治療ユニットは 8台 (うち3台がタービン付き)、歯科用X ray装置1台、各種治療器具完備。

(2) 隊員の業務内容:

1. 上記の3つのセクションが業務内容で、月ごとにスケジュールが決められている。
2. 現在、Dentist が 10名、Dental Nurse が 4名、Technician が 3名、Asistant が 13名 (うち女5名)。 2名の Dentist が常時サバイ島に勤務。 Dental Nurse は午前中学校で治療、午後は Central Clinic で 20才以下の患者を治療 (抜歯と充填だけ)。
3. Cental Clinic は、"Emergency", "Conservative", "Prosthetic", "Surgery" の 4つのコーナーに分かれていて、duty が日程表で決められている。 治療時間は、8:30 — 12:00、1:00 — 4:00。 Outpatient が 24時間 open で、night duty が週に1回 (自宅待機で call 待ち)。 休日 (土、日) 当番が月に1回の割でまわってくる。 "Emergency" は chair が 3台、エンジンがないので、抜歯と ZOE Dressing, Mittel が主な治療。 1日約60名の患者 — 多い日は 150名。 "Cons" は、Ag Filling、Resin Filling、Root trea。 患者の希望で前歯部の Gold Inlay が非常に多い。 "Proth" は Denture の作業。抜歯が多いので、入れ歯も多い。Partial Denture はクラスプなし。咬合器は単純なものばかり。Jachet Crown, Full Cr, Bridge 等もできるが、技工師の腕はあまりよくない。 "Surgery" は、minor の他に、顎骨骨折の治療が大きなウェートを占めている。有能な Dental Surgen が 1人いる。 あと、Prophylaxis の患者が多いが、これは Asistant が研磨する。原則として 1つのユニットに 1人の Asistant がついている。患者は Emergency treatment を受けたあと、予約して "Cons" "Proth" "Surgery" にふりわけられる。 [以下次ページ続く]

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在 10名の Dentist のうち半数は、60歳以上で、肉体的にも技術的にも期待できない実情であり、若い働きがほしいといったところ。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 歯学士の称号を有していること。
2. 最低2年間の病院勤務経験を有すること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55. 3. 17 年 月 日

510 看 護 婦

調査者氏名 笹 子 実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) NURSE (日本語) 看護婦	(男) 人 (女) 3 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): ST. LUKE'S HOSPITAL
(日本語): MUA MISSION HOSPITAL
ST. MARTIN'S HOSPITAL

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ( )

所在地: 主要都市からの距離 (BTより キロ)
マローサ 60
ムア 200
マリンディ 200

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: ミッション系病院(マローサ、ムア、マリンディ)の看護業務、各病院所属隊員の報告書を参照のこと。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来より多数受入れられている看護婦、助産婦の功績の結果、期待は特に強い。心身共に頑健な者が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
看護婦、経験3年以上。
英語中程度。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 日

調査者氏名 ホンデュラス調査員 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	Enfermera 看護婦（外科・手術室）	(男) 人 (女) x 1 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55 年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE SALUD PUBLICA Y ASISTENCIA SOCIAL 厚生省

イ. 配属先名称（現地公用語）: DIVISION DE ENFERMERIA

（日本語）: 保健総局 看護課

ロ. 隊員勤務先名称: 国内を巡回指導 日本語名称（国内各地）

所在地: REGION DE SALUD Nº 2-3-4-5-6-7 主要都市からの距離（ より キロ）

ハ. 事業規模及び内容: 厚生省はホンデュラス政府の保健、衛生、医療の総轄機関で全国を8地区（中央1、地方7）に分割し行政を行なっている。国内人口約350万人に対し厚生省所属の医師665名、正看護婦277名、准看護婦2,275名、病院数（国立5、地方7、県立6）診療所（医師常駐=74、看護婦のみ=361）

ニ. 設備概要: 病院には不充分ではあるが医療機器、手術器具、薬品等が整えられている。診療所は基本的な器具と医薬品のみ。

(2) 隊員の業務内容:

ホンデュラスでは一般民衆に対する保健、衛生、医療に関する教育の普及が遅れており、経済的な貧しさから、大多数の住民は健康を維持するだけの栄養を取ることもできず、傷病の際にも必要な医療を受けられない状況が続いている。

〔1978年の厚生省統計〕文盲率48%、平均寿命55才、死亡率1,000に98、栄養不良15才以下の70%、35才以上の成年は人口の6.6% 上水道普及率44.9%（地方10%以下）。下水道（トイレ）27.6%（地方5%以下）

隊員は国内8地域（中央1、地方7）にある国立病院にて、厚生省の看護婦に対し外科・手術室の指導を行なう。ホンデュラスでは看護婦教育が充分に普及されておらず地方巡回指導、講習会、資料・教材の作成によって、ホンデュラス看護婦の知識・技術水準の向上が期待されている。

① 隊員の業務上の地位 = 看護部指導教官／巡回指導改良普及員

② 技術の範囲 = 指導対象者は厚生省の看護婦であり、特に外科・手術室部門の技術指導が期待される。なお、現地看護婦には技術水準の向上とともに、看護手法、業務態度の習得も必要とされる。

③ 対象者 = 現地看護婦 カウンター・パートは厚生省及び地方配属の看護婦から選抜する。

④ 業務の形態 = 時間割 午前8時～12時、午後2時～5時

⑤ 現地で利用出来る機材 = 目的を水準は全く期待出来ない。

⑥ 事前研修・本国人の配置 = 米国平和部隊（一般看護及び職業療法士等）

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラス初の保健／衛生部門からの要請である。他の配属省庁での隊員活動が評価され、公式要請となったもので厚生省では隊員に対し、現地看護婦の技術水準の向上、看護手法、業務態度等の指導、カウンターパートの育成、教科書、教材の作成、講習会、地方巡回指導による啓発活動等、期待している。

(4) 隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）:

正看護婦資格取得後2年以上の実務経験、短大卒以上。
地方での活動では劣悪な環境が予想されるところ、健康で明るい性格でなければ務まらない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 53 年 9 月 20 日

51006 助産婦

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
テュニジア	(現地公用語) Sage-femme (日本語) 助産婦	(男) 人 (女) 2 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 54 年 4 月 派遣予定 54 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (略称 M.S.P.)

(日本語): 保健省

ロ. 隊員勤務先名称: 国内各地の国立病院(hôpital national) ( )

所在地: または県立病院(hôpital régional)に

ハ. 事業規模及び内容: 配属になるが、決定は隊員の任国到着後、隊員の履歴とその時点でのテュニジア側のニードを勘案して行なう。各病院の規模、内容、程度はそれぞれまちまちであり、一概に良い悪いは云えないが、一般的に云えることは設備は古く、細かい日常の資機材も簡単に入手できるとはいい難い。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位; 産科病棟における助産婦

② 技術の範囲; 主に分娩介助、他に産褥室及び新生児(未熟児もふくむ)室における看護業務、家族計画指導ほか。

③ 業務の形態; 国立病院の場合、産科病棟は4単位に分かれている。イ) 手術室(産科及び婦人科の手術)、ロ) 分娩室、ハ) 褥室及び病室、ニ) 新生児(未熟児)室。地方の県立病院では規模が小さく、上記単位を組み合わせて2単位ぐらいのところもある。隊員は上記イ)ロ)ハ)ニ)のいづれで働くかは上記(1)のとおり到着時のテュニジア側のニードによって決定される。勤務は昼勤夜勤、2交代制をとる場合とか、24時間勤務であと2日休みとか病院によってまちまちであり、また助産婦の人数によって形態が変ることもある。

④ カンターパートの技術水準・学歴等; 当国の正規の助産婦の教育程度、技術水準は日本に匹敵する。しかし准看護婦などの水準は日本より低い。

⑤ 職場における外国人; フランス人、ベルギー人、ブルガリア人などヨーロッパの医師が多いが、助産婦にはいない。

⑥ 使用する言語; 記録は全てフランス語、会話はフランス語、アラビア語。地方の場合はほとんどアラビア語

⑦ 現地の材料; 病院の機材、物品は不足勝ちであるが、現地方式でやるならどうにか間に合う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の助産婦の人数は少ないが、彼女等はヨーロッパの教育を受けており、社会的地位も高い。隊員には彼女等に対応できる実力、経験が必要とされる。助産婦隊員は技術者不足、人手不足を補う役務提供者として期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(学歴); 助産婦学校卒。(取得資格); 助産婦。(実務経験); 助産婦として3年以上(在学中の実習期間はふくまない)、地方勤務の場合、隊員だけで分娩介助をすることもある。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

511 助 産 婦

記入 昭和 55. 3. 17 年 月 日

調査者氏名 笹 子 実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) NURSE AND MIDWIFE (日本語) 助産婦	(男) 人 (女) 3 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): ST. ANNES HOSPITAL
(日本語): ST. MARTHA HOSPITAL

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ( )
所在地: 主要都市からの距離 (BTより キロ)

ハ. 事業規模及び内容: コタコタ 300
ナムウェラ 250

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: ミッション系病院(コタコタ、ナムウェラ)に於ける助産婦業務。各病院所属隊員の報告書参照のこと。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来より多数受入れられている看護婦、助産婦隊員の功績の結果 期待は大きい。心身共に頑健な者が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
助産婦経験3年以上。
英語中程度。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

511 助 産 婦

記入 昭和 55 年 3 月 日

調査者氏名 ホンデュラス調査員 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) ENFERMERA (OBSTETRICIA) (日本語) 助産婦	(男) 人	訓練開始 年 月
		(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE SALUD PUBLICA Y ASISTENCIA SOCIAL 厚生省

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIVISION DE ENFERMERIA

(日本語): 保健総局 看護課

ロ. 隊員勤務先名称: 国内病院 産婦人科を中心に指導 日本語名称 (国内各地)

所在地: DIVISION DE ENFERMERIA (TEGUCIGALPA) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 厚生省はホンデュラス政府の保健、衛生、医療の総括機関で全国を8地区(中央1, 地方7)に分割し行政を行なっている。国内人口約350万人に対し厚生省所属の医師665名、正看護婦277名、准看護婦2,275名。病院数(国立5, 県立6, 地方7) 診療所(医師常駐=74, 看護婦のみ361)

ニ. 設備概要: 病院には不充分であるが医療機器、手術器具、医薬品が整えられている。診療所には基本的な器具と医薬品のみ。

(2) 隊員の業務内容:

ホンデュラスでは一般民衆に対する保健、衛生、医療に関する教育の普及が遅れており、経済的な貧しさから大多数の住民は健康を維持するだけの栄養摂取もできず、傷病の際にも必要な医療を受けられない状況が続いている。〔厚生省統計1978年〕文盲率 48%、死亡率 98/1000、栄養不良 15才以下の70%、35才以上の成人は人口の6.6%

隊員は厚生省看護課に配属し、主に病院にて看護婦、准看護婦に対する技術教育指導、(妊産婦教育、分娩介助、産病室、新生児室等)を行うほか、家族計画指導を地域住民に対し巡回指導を行なうもので(ホンデュラスは未婚の母が母親の50%以上を占め大きな社会問題になっている)。業務上、公衆保健、衛生、栄養等についての指導も必要である。

①隊員の業務上の地位=看護課 指導教官、巡回指導 改良普及員

②技術の範囲=指導対象者が厚生省の看護婦と地域住民であるところ助産婦の知識、技術のほか公衆保健衛生栄養についての総合的な知識を必要とする。家族計画巡回指導、講習会の企画、実施、教材教材の作成、看護手法、業務能度の指導も同時に期待されている。

③業務の形態=通常の時間割、午前8時~12時、午後2時~5時

④対象者 =現地看護婦、地域住民、カウンターパートは厚生省及び地方配属の看護婦から選抜する。

⑤現地で利用できる機材=業務が病院か診療所かによって異なるが日本的な水準は全く期待できない。教材指導法とも貧しさを前提とした隊員の創意工夫にかかっている。

⑥専門家 3~3回人の配置、米国平和部隊(助産婦はなし) ⑦使用言語 スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラス初の保健衛生部門からの要請である。他の省庁での隊員活動が評価され公式要請となったもので厚生省では隊員に対し、現地看護婦の技術水準、看護手法、業務能度等の向上の他 教材、教材の作成、カウンターパートの育成、講習会、巡回指導による地方普及を期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

助産婦及び正看護婦資格取得後 7年以上の実務経験、短大卒以上
保健、衛生、医療に関する知識を有すること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 日

看 護 婦

調査者氏名 ホンデュラス調査員 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	Enfermera (Salud Publica) (男) 人	訓練開始 年 月
	(女) 1 人	派遣予定 年 月
	保健婦 (どちらでも可) 人	受入期限 55 年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE SALUD PUBLICA Y ASISTENCIA SOCIAL 厚生省

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIVISION DE ENFERMERIA

(日本語): 保健総局 看護課

ロ. 隊員勤務先名称: 国内を巡回指導 日本語名称 (国内各地)

所在地: REGION DE SALUD Nº 2-3-4-5-6-7 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 厚生省はホンデュラス政府の保健、衛生、医療の総轄機関で全国を8地区(中央1、地方7)に分割し行政を行なっている。国内人口約350万人に対し厚生省所属の医師665名、正看護婦277名、准看護婦2,275名、病院数(国立5、地方7、県立6)診療所(医師常駐=74、看護婦のみ=361)

ニ. 設備概要: 病院には不充分ではあるが医療機器、手術器具、薬品等が整えられている。診療所は基本的な器具と医薬品のみ。

(2) 隊員の業務内容:

ホンデュラスでは一般民衆に対する保健、衛生、医療に関する教育の普及が遅れており、経済的な貧しさから、大多数の住民は健康を維持するだけの栄養摂取もできず、傷病の際にも必要な医療を受けられない状況が続いている。

[1978年の厚生省統計] 文盲率48%、平均寿命55才、死亡率 1000/98、栄養不良15才以下の70%、35才以上の成年は人口の6.6% 上水道普及率44.9%(地方10%以下)。下水道(トイレ)27.6%(地方5%以下)

隊員は厚生省看護部に配属し全国各地の病院、診療所にて看護婦、准看護婦に対する技術教育指導(実習、講義)及び講習会を実施するほか一般住民に対する保健、衛生、医療の基礎知識普及の啓発活動として地方巡回指導を行なう。

① 隊員の業務上の地位 = 看護部 指導教官、巡回指導 改良普及員

② 技術の範囲 = 指導対象者が厚生省の看護婦と地方住民であるところ看護知識、技術とともに公衆衛生、保健など広い分野での活動が予想される。講習会の企画、実施、教材者、教材の作成も期待されている。現地看護婦には技術水準の向上とともに、看護手法、業務態度の習得も必要とされている。

③ 対象者 = 現地看護婦、地方住民、カウンターパートは厚生省及び地方配属の看護婦から選抜する。

④ 業務の形態 = 時間割 午前8時~12時 午後2時~5時

⑤ 現地で利用できる機材 業務が病院か診療所かによって異なるが日本的な水準は全く期待できない。貧しさを前提とし、いかに保健、衛生、医療の向上をはかるかは、隊員の創意、工夫、指導にかかっている。

⑥ 隊員数 外国人の配置 = 米国平和部隊(一般看護及び理学療法士等)

⑦ 使用言語 = スペイン語

3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラス初の保健、衛生部門からの要請である。他の配属省庁での隊員活動が評価され公式要請となったもので厚生省では隊員に対し、現地看護婦の技術水準の向上、看護手法、業務態度等の指導、カウンターパートの育成、教材者、教材の作成、講習会、地方巡回指導による啓発活動等、期待している。

4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

正看護婦資格取得後2年以上の実務経験、短大卒以上

地方での活動では劣悪な環境が予想されるところ、健康で明るい性格でなければ務まらない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 4 日

521 臨床検査技師

調査者氏名 宮岡 理恵 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Laboratory Technician (日本語) 臨床検査技師	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 55 年 8 or 10 月 派遣予定 56 年 2 or 4 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Health Services, Ministry of Health

(日本語): 保健省, 保健局

ロ. 隊員勤務先名称: Bhaktapur Hospital　日本語名称 (バクタプール病院)

所在地: Bhaktapur, Bagmati-zone, Nepal　主要都市からの距離 (カトマンドゥより約13キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ベッド数50床の総合病院で内科・外科・産婦人科・小児科・伝染病棟等があり、1カ月平均外来患者数約1500人、入院患者数約150人。全従業員84名

ニ. 設備概要: 臨床検査室, 救急室, 手術室, X線撮影室等

(2) 隊員の業務内容: 同病院臨床検査室にてネパール人技師と共に日常検査業務を行なう。

①隊員の業務上の地位: 臨床検査技師

②技術の範囲: 臨床検査の実技・理論に精通していること。
血液検査, 便, 尿, 喀痰, VDRL, 血糖, 尿素窒素, ズイ液等の検査。更に臨床検査室の整備・充実をはかることも期待されている。

③業務の形態: ネパール人ラボテクニシャン(1名), アシスタント・ラボテクニシャン(1名)と同検査室において通常の検査業務を行なう。勤務時間は午前10時から午後4時まで。

④対象者: カウンターパートの技師Mr. Debakar Bhattarai は, Central Health Laboratory の訓練修了後, アシスタントラボ・テクニシャンとしてビルガンジ病院に勤務し, その後, Institute of Medicine を修了しラボ・テクニシャンの資格を取得。インドへも留学しPathologyを学んできた。1978年7月帰国してバクタプール病院に勤務。

⑤利用できる機材: 顕微鏡, 遠心分離器, 恒温槽, コロリメーター, 比色計, 乾熱滅菌器, 冷蔵庫, 洗面台, 試薬等

⑥職場における外国人: JOCVの森川結子隊員がシスターナースとして, S54年10月より協力活動中。

⑦使用言語: ネパール語。但し検査用語はほとんど英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパールの各病院の臨床検査室は設備不足, 技師不足により, 技術水準・精度が低く, 各検査結果に対する医師の信頼はうすいと云われている。隊員には日本・インドより導入した各種検査器械を利用し検査方法及びそれらの器械の使用法・管理方法の指導を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

臨床検査技師資格取得後, 実務経験2~3年以上で, 上記業務を充分遂行できる人。

宮岡理恵隊員(S54年4月~S56年4月)の交替

交式

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 10 日

521 臨床検査技師

調査者氏名 稲田武司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マニラ市	(現地公用語) CABORATORY TECHNICIAN (日本語) 臨床検査技師	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 2人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HEALTH

(日本語): 保健省

ロ. 隊員勤務先名称: KAMUZU CENTRAL HOSPITAL 日本語名称 (カムズ中央病院)

所在地: リロングウェ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 入院患者 約550名, 外来患者 約3000名/日, ドクター 計11名 (マラウイ人4名, コリアン1名, ヨロッパ人6名)

ニ. 設備概要: 最新の検査機械 (FLAME PHOTOMETER, MINIKEN, COULTER COUNTER) を含め一通り揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位 T.O.
2. 技術の範囲 現在行なわれている検査を記す。

BIOCHEMISTRY: glucose, urea, creatinine, sodium, potassium, chloride, bicarbonate, calcium, phosphorus, cholesterol, uric acid, protein total, albumin, globulin, bilirubin total, bilirubin direct, alkaline phosphatase, SGOT, SGPT, acid phosphatase.

HAEMATOLOGY: RBC, Hb, PCV, PLATS, ESR, WBC, Diff, MPs, Prothrombin time, Bleeding time, Clotting time.

SEROLOGY: KAHN TEST, HBs Ag.

PARASITOLOGY, BLOOD BANK

3. 業務の形態 上記検査を JOCV 2名, マラウイ人検査技師5名, 研修生で行なう。
4. 現地で利用できる技術 (1) ニ参照
5. 使用言語 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 専門学校卒以上。
2. 臨床検査技師。
3. 実務経験3年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 10 日

523 作業療法士

調査者氏名 吉満博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Occupational therapist (日本語) 作業療法士	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Spastic Children's Association Johore.

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Spastic Children's Association Johore　日本語名称 (スパスティック・チルドレンズ・スクール)

所在地: ジョホール州 市内　主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 脳性小児麻痺による身障児のリハビリテーションおよび学校教育 (小学校より中学校までの教科を教えている) を施すために組織された民間慈善団体により運営されている施設。政府補助金及び募金等で経費を賄っている。児童数 60人.

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

業務上の地位:

Spastic School には、政府より派遣されている3人の先生の他、4人の補助員が子供達の訓練に携っている。過去、理学療法士および言語療法士として、英国 Volunteer が配属された。隊員は、スタッフの一員として位置づけられる。

業務の内容:

1). 児童 (3才～21才) を、年令別グループ、性別グループ、あるいは、個人個人に適した精神および身体の機能回復訓練のための治療活動に従事する。

2). 週一回のスタッフ連絡会議、その他の委員会に参加する。

業務形態:

勤務時間 (月～金) 8:15～16:15. (金曜日は、15:00 まで). 土・日は休み.

対象者:

入所者は、希望者の中から、Medical メディカル・ケース・ミーティングでの審査を経て決定される。ジョホール州各地より毎朝 スクール・バス (専用) で通院。遠隔地の児童は近くの施設 (Cheshire Home) に預けられている。

使用される言語:

マレー語　但し スタッフ間は英語が多用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同センターは、基本的には、ボランティアの奉仕活動によって支えられているが、資格ある要員の確保がむつかしく、海外の Volunteer 組織にも依存しなければならない事情がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 作業療法士.

仮

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

525 薬剤師

記入 昭和55年 3月19日

調査者氏名 笠子実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウィ	(現地公用語) PHARMACIST (日本語) 薬剤師	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HEALTH

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRAL MEDICAL STORES 日本語名称 ( )

所在地: ブランタイア. クーンエリザベス病院内 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: ① 薬剤師
② 品質管理. 製剤
③ 日勤のみ (上司あり) 約20人の部下あり
④ 変様性あり
⑤

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
㊀. 薬剤師の資格者
① 実務経験
③ 1年程度の実務経験

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

550 公衆衛生

記入 昭和 55年 3月13日

調査者氏名 山口廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア（サバ州）	（現地公用語）Enviromental Reseach Officer （日本語）環境調査官（化学分析）	（男） 1 人 （女） 人 （どちらでも可） 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

（1）配属先

イ．配属先名称（現地公用語）：Ministry of Man power and Environmental Development

（日本語）：マンパワー及び環境開発者

ロ．隊員勤務先名称：Environmental Section 日本語名称（環境調査部）

所在地：Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離（KKより 2 キロ）

ハ．事業規模及び内容：サバ州の産業、水（河等）、大気、騒音（車等）鉱山、等そして開発事業等から、現在及び将来に渡って環境汚染の原因となるものを調査し、その対策及び計画等について業務を行っている。

ニ．設備概要：1976年に設立された省で総スタッフ20人程度の規模で運営されているが、人材が不足し化学分析等の設備もまだなく事内家到着後相談購入予定。

（2）隊員の業務内容：

①業務上の地位 …… 環境調査官（Officer）

②技術の範囲 ③業務の形態 …… 環境開発者としてもまだ汚染等についての実績が少なく関係ある所の水等を採集し、それを他局の化学分析所に回しその結果を得て対策を講じている程度で、自分の者として独自の分析技術を持っていない。現在及び将来に渡って産業、水、大気、騒音、海、等の汚染対策の必要性は何となく感じられるが、模索の段階であり、何をどうして良いかわからない状況でもある。従ってこれの状況を化学的に分析し、それらの統計及び基礎資料を作る事について具体的に指導及び助言が出来る化学分析調査官が必要とされている。隊員は野外で調査採集等を行い、そういった物について分析を行う具体的な実務及び基礎資料の作り方等が必要となり、加えて状況分析等出来る人であればベターと思われる

④対象者 …… 特に予定されてないが、担当Officerのゆとり実力のある人物を指導する事になる（22才～25才程度）

⑤機材 …… 現在何もなく事内家到着後に相談購入の予定簡単な分析機材及びカタログ等は持参した方が良い。⑥他国のボランティアは居ない

⑦使用言語 …… 英語（英語実力ある人はマレー語でも可）

（3）受入希望の背景と受入国の期待：設立5年目を迎えているが適当な人材が不足しており業務の進展がみられない。スタッフも若い人が多く技術的にも未熟であり今後とも実務面の改善が困難であり、海外からの適当な技術協力が望まれている。この要請は、52年頃から話しがあり、再度具体的な内容となって要請されたものであり J.O.C.Vに対する期待は大きい。

（4）隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：

1. 環境科学又は化学工学、[redacted]又はこれらに関係する資格及び経験がある人

2. 分析化学の実務[redacted]経験のある人で少なくとも環境科学についての経験がある人でも充分と思われる。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 31 日

550 公衆衛生

調査者氏名 内田桂吉 (伊藤)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Entomological Aspects of Filariasis (日本語) 昆虫学(フィラリア)	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 4 月 受入期限56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称(現地公用語): ~~[illegible]~~ Ministry of Health

(日本語): 厚生省

ロ. 隊員勤務先名称: Division of Public Health, Filariasis Control Unit 日本語名称(フィラリア・コントロール・ユニット)

所在地: Apia 主要都市からの距離(より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: W. Samoa 政府と W.H.O. 合同による Filariasis Research Project で主要メンバーは W.H.O. Dr 2名, サモア人チーフ2名で他に10名程の理地人 workers と日, 米 volunteers から成る。

ニ. 設備概要: 6ーク台の顕微鏡と車2台(ランドクルーザー1台を含む), その他簡単な実験器機がある。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位 : W.H.O. Entomologist のアシスタント。

② 技術の範囲 : 媒介蚊等の同定, 分類, また野外調査を行なう。

③ 業務の形態 : 野外調査活動

④ 対象者の技術水準 : 1年～数年の経験者もあり蚊の同定等を手がけてはいるが高くない。細かい部分でのていねいな指導が必要。

⑤ 利用できる機材 : 現在顕微鏡等は台数も増え便利。但し今後の活動が control となるため, 必要機材が新たに生ずる可能性大。

⑥ 外3国人の専門家 : W.H.O. より日本人Dr. 1名 (Epidemiologist), インド人Dr. 1名 (Entomologist)

⑦ 使用する言葉 : 英語およびサモア語 (職場では英語でこと足りる)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在サモア人血液中のフィラリア幼虫感染率が上昇しておりこの Project はその阻止が最終の目標である。昆虫班は媒介蚊の調査およびその control を任っている。W.H.O. Dr. と理地人 workers の間に立ってその橋渡しをすることが我々に望まれている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大学で昆虫学を専攻した者が望まれる。経験不要。

野外活動に興味を持つ者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54年 11月 20日

605 考 古 学

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) ARQUEOLOGIA (日本語) 考古学	(男) 2 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 SECRETARIA DE CULTURA Y TURISMO 文化観光庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO HONDUREÑO DE ANTROPOLOGIA E HISTORIA

(日本語): 国立人類学歴史研究所

ロ. 隊員勤務先名称: DEPARTAMENTO DE ARQUEOLOGIA 日本語名称 (考古学部)

所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 首都 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 人類学歴史研究所と人類学博物館、コパン支部からなり、約60名の職員により運営されている。また重要地域には地区ごとに数人の職員が派遣されている。歴史的に見てもホンデュラスはマヤ文化発祥の地であり、少人数ではあるが保護、調査のため積極的に業務にあたっている。

ニ. 設備概要: 研究所には約2,000冊の蔵書、約3,000冊の雑誌、研究誌その他、各種地図資料を有する。(書籍のほとんどはスペイン語か英語)

(2) 隊員の業務内容:

ホンデュラスにはマヤ文化発祥の地コパンを始め世界考古学史上、貴重な先史時代の遺跡が多数存在している。しかしながらホンデュラスには考古学の専門家、研究者が少なく、充分な調査研究、保護ができず未発掘の遺跡も多い。同研究所では特にLa Virgen(テグシガルパ北東約30km) Travesia(テグシガルパ北北西175km) Pulhapanzak(テグシガルパ北西130km)の3地域について重点的に発掘、調査、資料作成を希望している。

① 隊員の業務上の地位 人類学歴史研究所技官

② 技術の範囲 遺跡の発掘、調査、資料作成、保護、管理計画等 可能ならば発掘品の修復

③ 業務の形態 テグシガルパ市内研究所にて資料作成等の業務にあたる(午前8時～午後4時 月曜～金曜)ほか上記3か所をはじめとした各地の調査、発掘、保護を行うものでしばしば長期出張が課せられる。

④ 対象者 研究所職員 ただし発掘調査には大学生の協力を得られるほか現地にて必要に応じ労働者(有給)を募る。

⑤ 現地で利用できる機材 ジープ、発掘用器具、資料作成用事務用品

⑥ 専門家 第3国人の配置 アメリカ人専門家1名

⑦ 使用言語 スペイン語 ただし同研究所にある書籍、資料には英文のものが多数あり その有効利用にはかなり高度な英文読解力を必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

考古学に関しては現在まで欧米の各機関、大学等が発掘、調査を行った経緯にあるがその資料のほとんどがホンデュラスに還元されておらず、国民のための貴重な文化遺産として遺跡の調査、研究、発掘、保護にあたるべく、水準の高い日本の青年を要請して来たものである。

※スペイン語資料(考古学要請)は派遣課に保管されており活用願います。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学および大学院にて考古学か文化人類学を専攻したもの。アメリカ先史専攻者が最も望ましい。発掘調査、修復の経験、技術も特に必要とする。英語、西語についても高い能力を必要とする。普通自動車(4輪車)運転免許

(15頁参照の事)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54年 8月 11日

606 生 態 学

調査者氏名 山口廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア (サバ州)	(現地公用語) Zoology (Animal Ecology) (日本語) 動物学(動物生態学)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 55年 8 月 受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 文部省 (国立クバンサン大学サバ校舎)

ロ. 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia Sabah campus (日本語名称) ~~マレイシア国立大学サバ分校~~

所在地: Lock Bag. 62 G.P.O. Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離(KKより 6キロ)

ハ. 事業規模及び内容: この大学のサバ分校は自然科学や自然資源の学部として1977年、学部長の先頭でスタートがなされた。学部は5部門あり、即ち生物学部、化学部、物理学部、数学部及び地球化学部である。各部門には、何人かの講師、準教授、教授が授業部員として在籍する事になる。現在学生数は86人、授業部員7人、管理部員15人程度でスタートをしたが、1985年には新校舎完成に伴い、600人の全体を収容計画されている

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位…動物学部の講師/準教授/教授(として)の授業部員

② 技術の範囲 ③ 業務の形態 …2年生及び3年生コース内の動物学の講義を行ない、授業や研究に備えて設備等の準備を行なう。学科コースにはBiometricsやBiostatisticsなどの統計的分野を含む。又4年生の動物学や生態学についての専攻プログラムについての計画を行なう。

④ 対象者……19才~22才程度の[redacted]学生で1クラス現在20~40人程度

⑤ 機材……授業や研究に必要な機材及び隊員が必要とする機材はほとんどを大学が準備する

⑥ 第三国人……現在はいないが将来米国及び、独国のボランティア等と一緒に仕事をするように成る予定。

⑦ 使用言語……すべての講義はマレー語で行われる。(関係者のほとんどが英語を解するので英会話は習っておいた方がベター)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

この要請はこの大学の校長であるDr. YUSOFF HAMID氏によって行われた。氏は大学教育の大切さを常に[redacted]考えておられ、日本の大学教育についても理解されている。日本の優れた若い学者が途上国の自然化学の分野で新風を吹き込みその方向づけを示してもらい、マレイシア大学生の知識向上を支援してもらいたいとの期待がある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 理 大学の修士又は博士課程~~の資格のある者~~修了者又はそれと同等の資格を有する者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 17日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア（サバ州）	（現地公用語）Zoology (Vertebrate Zoology) （日本語）動物学（脊椎動物学）	（男） 人 （女） 人 （どちらでも可） 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

（1）配属先

イ．配属先名称（現地公用語）：Ministry of Education

（日本語）：文部省

ロ．隊員勤務先名称：Universiti Kebangsaan Malaysia Sabah 日本語名称（マレイシア国立大学 サバ分校

所在地 Lock Bag. 62 G.P.O. Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離（KKより 6キロ）

ハ．事業規模及び内容：この大学のサバ分校は自然科学や自然資源の学部として1977年、学部長の先頭でスタートがなされた。学部は5部門あり、即ち生物学部、化学部、物理学部、数学部及び地球化学部である。各部門には何人かの講師、準教授、教授が授業部員として在籍する事になる。現在学生数は96人、授業部員7人、管理部員15人程度でスタートをしたが、1985年には新校舎完成に伴ない、600人の学生を予定の計画がなされ

ニ．設備概要：

（2）隊員の業務内容：

①隊員の地位…生物学部の講師／準教授／教授としての授業部員

②技術の範囲
③業務の形態
…2年生及び3年生のコース内の動物学の講義を行い且つ授業や研究に備えて、設備等の準備を行なう。学科には、脊椎動物の生物学や動物組織学、そして生物体の解剖学等も含まれる。またさらに大学内における、標本博物学や、4年生の動物学における卒業プログラム等の計画を行なう。

④対象者……19才～22才程度の[redacted]学生で1クラス現在20～40人程度

⑤機材……授業や研究に必要な機材及びボランティアが必要とする機材はのほとんどを大学が準備する

⑥第三国人…現在はいないが将来米国及び、独国のボランティア等と一緒に仕事をするように成る予定。

⑦使用言語…すべての講義はマレー語で行われる。（資料は英語の資料が多い）（関係者のほとんどが英語を解するので英会話は習得しておいた方がベター）

（3）受入希望の背景と受入国の期待：

この要請はこの大学の校長であるDr. YUSOFF HAMID氏によって行われた。氏は大学教育の大切さを常に[redacted]卒としておられ、日本の大学教育についても主張されている。日本の優れた若い学者が途上国の自然化学の分野で新風を吹き込みその方向づけをしてもらい、マレイシア大学生の知識向上を支援してもらいたいとの期待がある。

（4）隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：

①大学の修士又は博士課程終了の資格のある者、又はそれと同等の資格のある者

2.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 3 月 17 日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア（サバ州）	（現地公用語）Geology（Straigraphy Palaeontology） （日本語）地質学（層位学/古生物学）	（男） 人 （女） 人 （どちらでも可） 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

（1）配属先

イ．配属先名称（現地公用語）：Ministry of Education

（日本語）：文部省

ロ．隊員勤務先名称：Universiti Kebangsaan Malaysia Sabah Campus（日本語名称）マレイシア国立大学 サバ分校

所在地 Lock Bag. 62 G.P.O. Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離（KKより 6キロ）

ハ．事業規模及び内容：この大学のサバ分校は自然科学や自然資源の学部として1977年、学部長の先頭でスタートがなされた。学部は5部門あり、即ち生物学部、化学部、物理学部、数学部及び地球化学部である。各部門には、何人かの講師、準教授、教授か授業部員として在籍する事になる。現在学生数は96人、授業部員7人、管理部員15人程度でスタートをしたが、1985年には新校舎完成に伴い600人の生徒を予定の計画がなされている。

ニ．設備概要：

（2）隊員の業務内容：

①隊員の地位 … 地球化学部の講師／準教授／教授としての授業部員

②技術の範囲 ③業務の形態 … 主に2年生（及び3年生）コース内の地質学の講義を行い、授業や研究に備えて設備等の準備を行なう。学科コースには層位学、古生物学、等の関係学科がある。又、4年生の地質学の専攻プログラムの計画も行なう。

④対象者 …… 19才～22才程度の[redacted]学生で1クラス現在20～40人程度

⑤機材 …… 授業や研究に必要な機材及びボランティアが必要とする機材はのほとんどを大学が準備する

⑥第三国人 … 現在はいないが将来米国及び、独国のボランティア等と一緒に仕事をするように成る予定。

⑦使用言語 … すべての講義はマレー語で行われる（資料は英語の資料が多い）（関係者のほとんどが英語を解するので英会話は練習しておいた方がベター）

（3）受入希望の背景と受入国の期待：

この要請はこの大学の校長であるDr. YUSOFF HAMID氏によって行われた。氏は大学教育の大切さを常に[redacted]考えておられ、日本の大学教育についても理解されている。日本の優れた若い学者が途上国の自然化学の分野で新風を吹き込みその方向づけを示してもらい、マレイシア大学生の知識向上を支援してもらいたいとの期待がある。

（4）隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：

① 大学の修士又は博士課程終了の資格のある者又は、それと同等の資格のある者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 9 日

611 秘　　書　　調査者氏名 松尾邦義

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア・アラブ共和国	(現地公用語) Secretary (日本語) 秘書 ⊛	(男) 人 (女) 1 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): JOCV Office in Syria

(日本語): 青年海外協力隊シリア事務所

ロ. 隊員勤務先名称:　　日本語名称 (　　)

所在地: Damascus　　主要都市からの距離 (　　より　　キロ)

ハ. 事業規模及び内容: シリア協力隊規模, 向う1~2年 隊員数 20~25名 (内, 女性隊員 4, 5名)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

— 在ダマスカス協力隊事務所に勤務する。
— 隊員, 駐在員を支援する立場にある。
— 業務内容: 各種文書処理, 隊員との連絡, 隊員レポート翻訳(英⇄和), タイプ打ち, テレックス打ち, ウィザ更新業務, 電話のとりつぎ, 大使館との連絡, 各種会合(隊員歓迎会, 業務別ミーティング, 健康診断 etc)のアレンジメント ⊛⊛
— 使用言語: 日本語 英語 アラビア語(主として レバノン・シリア方言 口語)
このうち; 日本語はきちっと出来ること(非常に大切である)
英語はまあまあ(せめて英検2級以上の能力)出来ること
アラビア語は, 普通の日常会話は出来ること(ただし着任後3~6ヶ月後で結構)

⊛⊛ もし本採用者が, 英検1級 又は 運輸省通訳案内業英語の合格者の場合, 第1ヶ月目の語学訓練は, 是非アラビア語(レバノン・シリア口語を主, 文章語を従)をお願いしたい。英語は全く本人の自学自習にまかせていただきたい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

2年間 available であること。(勝手気ままな理由をつけて中途帰国などになると大きくなる。)

シリア協力隊事務所の期待は大変大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

オフィスや隊員の秩序を守れるだけの節操がある人　英検2級以上の英語力, 使いものになるくらいのタイプの能力, 出来れば4年制大学卒, 出来れば20才台, アラブ社会で2年間もつだけの心身のタフネス, 仏語が出来れば便利な場合もあるので(任期 昭和56年4月8日迄)

⊛ 花登秘書隊員の交替要員。個人の都合で任期延長も不可能なので55年度3次隊派遣(56年2月派遣)と

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 10 日

調査者氏名 吉満博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア	(現地公用語) Youth Activities Organizer (日本語) 青少年活動オーガナイザー	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Culture Youth & Sports

(日本語): 文化青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Asian Youth Council 日本語名称 (アジア青年協議会)

所在地: Kuala Lumpur 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Asian Youth Council (A.Y.C) は14か国の代表者から構成されており、各種会議の他、セミナー、ワークショップ、リーダーシップ訓練等を行なっている。

ニ. 設備概要: 事務所には、Secretary general と Programme Officer、若干の使用人がいるだけの簡素な施設である。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は、A.Y.C に席を置き、A.Y.C の業務をやりながら一方31団体130万人の会員を有する Malaysian Youth Council 及び Ministry of Culture, Youth and Sports と連携して各種の青少年活動例えばワークキャンプやセミナー等の企画、立案、実行に当たる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

財政難、人材難から十分な青少年活動を企画、実施できない現状を打開し前進させること

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青少年活動の組織、運営等にたずさわった経験のある者。
企画力、語学力のある者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54年 11月 23日

650 音　楽

調査者氏名 島崎達朗

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) VIOLIN (日本語) 音楽教育 バイオリン	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 UNIVERSIDAD NACIONAL AUTONOMA DE HONDURAS 国立ホンデュラス自治大学

イ. 配属先名称(現地公用語): DEPARTAMENTO DE ARTE

(日本語): 芸術課

ロ. 隊員勤務先名称: DEPARTAMENTO DE ARTE　日本語名称(芸術課)

所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 首都　主要都市からの距離(より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 学生に対し広く芸術的教養を深める為に1977年に発足したものであり現在音楽(ピアノ、リコーダー、弦楽器、ギター、合唱、)のほかにダンス、演劇、美術などの分野がある。又将来芸術学部として専門家を養成する学部となることを目標としている。現在は一般教養の選択科目

ニ. 設備概要: ピアノ2、エレクトーン1、バイオリン6、ビオラ3、チェロ1、コントラバス1、ギター、リコーダーは来年度購入の予定。

(2) 隊員の業務内容: 芸術課に所属する学生の内バイオリンを専攻する者に対し、技術指導することが主な業務となる。又技術指導のみならず芸術的教養を深めるという見地から広く音楽全般についての指導も必要。

(1) 隊員の業務上の地位: 国立ホンデュラス自治大学芸術課音楽講師

(2) 技術の範囲: 学生はもちろん、現地の先生に対するアドバイスができる指導力、説得力があることが望ましい。

(3) 業務の形態: 授業は午後のみ(現在のところ)で、PM1:00～PM8:00。

(4) 現地で利用できる機材: 設備概要を参照。

(5) 職場における外国人及び専門家の配置状況: イラン、チリ、ドイツ、スペイン、米国。

(6) 使用言語スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、発足したばかりの状態で学校そのものシステム及び楽譜、楽器は極めて未完成、不足している状態であるためできるだけ本人の使用する楽器、楽譜は可能な限り用意されたい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(1) 教員免許取得者が絶対条件となる。

(2) 音楽大学又は専門学部、学科(音楽)を卒業した者で実務経験がある方が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

650 音　　楽

記入 昭和 54年 11月 23日

調査者氏名 島崎 遼朗

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) EDUCACION MUSICAL (日本語) 音楽教育	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 3人	訓練開始 年 月 派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省

イ. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTAMENTO EJECUTIVO DE EDUCACION NORMAL Y ARTISTICA

(日本語): 中等教育局 義務教育 芸術教育課

ロ. 隊員勤務先名称: ESCUELA NACIONAL DE MUSICA　日本語名称 (国立音楽学校)

所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 首都　主要都市からの距離 (　より　キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1977年に発足した音楽教育実験学校であり、現在児童(小学生)音楽教育、教員養成、音楽家(演奏家)育成の3課程がある。現在の教師数は約20名。入学年令は7才、義務教育6年間で音楽家、教師を希望する者は続けて中学課程、教員養成課程へ進める。

ニ. 設備概要: 現在テグシガルパにある本校舎とコマヤグエラにある小学校から成る。本校舎: 教室に、ピアノ10、バイオリン19(1/2~4/4)、ビオラ2、チェロ5、その他ギター、タンバリン、木琴　小学校: ピアノ1、打楽器

(2) 隊員の業務内容: 実験学校の生徒にスズキメソード方式によるバイオリン教育、及び教職課程(含教師)の生徒に対するバイオリン教育が主な業務内容となる。年令: 7才~20才
また単なる技術指導だけでなく、広く音楽教育全般についての指導も必要。

(1) 隊員の業務上の地位: 国立音楽学校教師。

(2) 技術の範囲: 小学校及び中学校課程の音楽教育を理解していること。(しかし現地では日本の教育がそのまま通じるとは限らず、その点柔軟な姿勢が要求される)。生徒は無論、現地の先生に対するアドバイス、指導が出来る技術、演奏能力を持っている事。スズキメソードの指導法を理解していること。

(3) 業務の形態: 授業時間は週40時間(50分授業)。授業時間はAM: 7時~PM8時。

(4) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴、年令: 対象者の年令は7才~20才。小学課程は7才から。教員養成課程を希望する者は義務教育課程(小学6年、中学3年)を終えたもので、音楽学校の入学試験に受かった者に限られている。

(5) 現地で利用できる教材: 設備概要を参照。

(6) 職場における他の国及び日本専門家の配置状況: ドイツ、チリ、(日本(中村美子隊員、坂元由美隊員)) etc

(7) 使用言語: スペイン語。

(8) 隊員要請　バイオリン、ピアノ、フルート 各1名 計3名

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラスの学校教育に不足している音楽教育を国立音楽学校で小学生を対象に実験教育するもので音楽教育を通じた人間性豊かな創造性ある人間を育成することを目的としている。又児童教育の延長として将来のホンデュラス国音楽演奏家、教員養成をも目的としており、音楽教育の全国普及、学校教育への導入を早期に実施すべく音楽教育、学校教育に造詣した我国へ技術協力を要請してきたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(1) 音楽大学又は音楽を専門とする学部、学科を卒業したもので実務経験のある者が望ましい。

(2) 教員免許取得者が望ましいが絶対条件ではない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 2 日

650 音　楽

調査者氏名 岩波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Música (日本語) 音楽	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Oficina de Asuntos Internacionales del Ministerio de Educación

(日本語): 文部省国際局

ロ. 隊員勤務先名称: CEGECOOP "LA UNION"　日本語名称 (テ・ウニオン総合学校)

所在地: Av. La Mar cuadra 19, Pueblo Libre, Lima　主要都市からの距離 (~~未~~ 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本学園は1971年に政府公認学校法人として発足。生徒数は小学校906名、中学校(日本の高校2年までを含む)650名を数え、男女比率はほゞ半々、全体の95%強が日系人子弟。職員数96名。運営母体は1,326名の会員よりなる教育事業協同組合(CEGECOOP)。日系人運営校としては当国最大。

ニ. 設備概要: 敷地面積12,000m²。事務局棟の他教室42、工作室4、実験室2、図書館は建設中。体育施設としては同一敷地内(100,000m²)のテ・ウニオン総合運動場を優先使用(サッカー場、野球グランド、プール(25×50m)、トラック)

(2) 隊員の業務内容:

本学園における音楽教師は中学部のみ2名で、小学部では各担任が音楽をも担当している。全校生に対して授業は週1時限。また実際にはこの時間に音楽のみならず他の美術も教えられており、言わば芸術教育(Educación Artística)としてまとめられ、専化が遅れている現状である。

1. 隊員は音楽教師に対するアドバイザーとして、従来の音楽教育のあり方の総見直し、カリキュラムの改善、指導要領の整備等を通しての、レベルアップ・強化に努める。
2. カウンターパートに対する指導・助言。
3. 利用可能な機材としてはピアノのみ。
4. 他の国人、日米専門家の派遣なし。
5. 使用言語 スペイン語。
6. その他 音楽教育の発展・充実に資する音楽会、学芸会の開催への協力や、クラブ活動強化指導等。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 学園の教育方針は"善良なるペルー人形成。日本文化に誇りを"で、進んだ日本の音楽教育を導入して、豊かな情操に裏打ちされた青少年の育成を図り、ひいては政府文部省よりモデル・パイロット校の指定を得て、他校への成果波及に努めることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒(音楽専攻)ないし同等の有資格者
2. 中学校における指導経験3カ年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 2 日

660 美 術

調査者氏名 岩波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Bellas Artes (日本語) 美術	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Filial de Arequipa del Instituto Nacional de Cultura

(日本語): 文化庁アレキーパ支部

ロ. 隊員勤務先名称: Colegio "Nuestra Señora de la Merced" 日本語名称 ("慈悲深き聖母"学園)

所在地: Calle Misti 208, Yanahuara, Arequipa, PERU 主要都市からの距離 (~~[illegible]~~ 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本学園は当国第2の都市アレキーパに位置し、生徒は小学校722名、中学校300名(うち10%が男子)を数え、その創立は1951年に遡る由緒ある私立校で、卒業生合計968名(1962年以降)。その厳格かつ規律ある指導内容・実績への高い評価とあいまって、同市の名門校の中で最右翼と目されている。

ニ. 設備概要: 本学園の敷地は8,500m², 建物面積7,157m²。26教室の他 図書館、チャペル、実験室、工作室 etc. を有する。

(2) 隊員の業務内容:

本学園の教師勤務時間は、月曜から金曜まで 8:00 am ~ 2:00 pm (昼休み1時間を含む)で、女性美術教師1名が週28~29時間を担当している。

主たる隊員業務の内容は次のとおり。

1. 現在の美術教育(本学園における)のあり方の見直し、改善。カリキュラム、指導要領の整備・充実
2. 授業現場におけるカウンターパートの指導。並びに特に進度の著しい優秀な生徒を少数グループに編成し、これに対する個別指導。
3. 授業時間外におけるカウンターパートへの直接指導。
4. 他校の美術教師を集めての講習会等による指導・助言。

なお対象生徒は、300~400名、各クラス 40~60名ということである。また指導科目としては具体的には、彫刻、絵、グラフィック・デザイン、活花、セラミックである。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学園は運営資金の100%を生徒からの授業料・入学金、その他寄付でまかなっている独立採算校で、校風は質実、教育レベルは指導陣の熱意により他の公立校をしのいでいるが、資金力に乏しく設備も不十分で、近代的指導法・カリキュラムに基づく先進国なみの教育レベルには程遠い現状にある。特に美術は歴史も浅く設備にも恵まれず甚しく見劣りのする分野で、直接的には本学園に対する協力をベースとし、間接的には他校への波及を図ることによりレベルの向上をねらいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒業後 小学校での数ヵ年の指導経験を有すること(対象の重点が小学生にあるので)
2. 西語を理解すること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

680 日 本 語

記入 昭和 54 年 9 月 15 日

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Professeur de la langue japonaise (日本語) 日本語教師	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 55 年 4 月 派遣予定 55 年 8 月 受入期限55年9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de l'Enseignement Supérieur et de la Recherche Scientifique

(日本語): 高等教育・科学研究省

ロ. 隊員勤務先名称: Institut Bourguiba des Langues Vivantes 日本語名称 (ブルギバ スクール)

所在地: 49 Ave. de la Liberté, Tunis 主要都市からの距離 (市内 [redacted] キロ)

ハ. 事業規模及び内容: チュニス大学文学部の一課程である Maîtrise Combinée de langue (語学復合教職) の日本語専攻学生に教授する。1年から4年まで4年間のコースで1学年1クラスで10名程度の学生数。

ニ. 設備概要: LL教室、ビデオ、映写室の他、教師のための教材のコピー、録音等の設備あり、日本語関係の図書類は多くない。

(2) 隊員の業務内容:

学生は全員チュニス大学文学部の学生で、全員バカロレア(大学入学検定試験)合格者、年令は18才～25才と巾がある。時に夜間の成人学級を設けることもあるが、これは不定。
1年生の初歩から4年生まで連続したコースとして日本語を教える。1学年の授業時間数は、2時間が一単位で週3日、つまり6時間。
隊員としては初級から中級の上まで巾広く教えられることが必要。
教授方法はフランス語、あるいは英語を用いての授業か、直接法でもかまわないが、現在はフランス語を用いての間接法。
本日本語コースは昭和52年から始まったものであり、55年からは4学年がそろうので教師3人で4学年を分担することになる。1人の授業時間数は週10時間程度で土、日は休み。
54年度(54年9月開始)からは、一応4学年に渡る教科書を決定し、プログラムを作成する予定である。
学年度は10月から6月までで、7月～9月は休みである。
上記日本語指導に加えて、初歩の日本文化、日本文学についての講義できる者を要請されている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和52年に本コースを開設し、55年9月からは4学年にわたって学生に授業するため3名の教師が必要となる。現在2名確保されているので、あと1名追加派遣が要望されているものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学卒。望むらくは日本語教育の経験のあること(1年以上)。少なくとも日本語教育法コースを終了した者。フランス語ができること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54年 9月 14日

680 日 本 語

調査者氏名 田山君子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Educación de Idioma Japonés (日本語) 日本語教育	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 1980 年 4 月 派遣予定 1980 年 10 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Universidad Nacional Autonoma de Honduras

(日本語): ホンデュラス自治大学

ロ. 隊員勤務先名称: Departamento de Letras y Lenguas 日本語名称 (言語文学部)

所在地: Centro Universitario 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ホンデュラス唯一の国立大学。(総合大学)

ニ. 設備概要: 黒板 カセットレコーダー、16mm映写機(申請中)
参考書

(2) 隊員の業務内容: 現在、一般日本語 I、II があり、I は初級で約20名 II は5名の学生(一般聴講も含む) 主に、会話が主で、大阪外大のスペイン語版テキストを抜粋して使用している。ひらがなは、1学期中にはすべて教えるが、あまり期待されていない。
時折、経済企画庁その他から、日本への研修生を受け入れることもあり、期間が不足の場合は、正規、授業時間以外に時間を設けることもある。
授業時間は、1日3時間(午前中1時間、午後2時間)月曜から木曜までだが、金曜も出勤しなければならない
2学期制 (3〜6月、9〜11月)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本留学の可能性のある学生は、経済企画庁その他からの研修生以外、ほとんどいない。中心に、留学を前提とするのではなく一般的に、日本語及び日本という国の紹介のクラス。
大学側は、技術用語のクラスも望んでいるが、時期尚早。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

・文学ではなく"日本語教育"の教育を受けている者、国語研究所の研修等の終了者
・スペイン語のうまい人
・楽観的に気の長い人 ○男性

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 2 日

680 日 本 語

調査者氏名 岩波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Idioma Japonés (日本語) 日本語	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Oficina de Asuntos Internacionales del Ministerio de Educación

(日本語): 文部省国際局

ロ. 隊員勤務先名称: CEGECOOP "LA UNION" 日本語名称 (ラ・ウニオン総合学校)

所在地: Av. La Mar cuadra 19, Pueblo Libre, Lima 主要都市からの距離 (0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本学園は1971年に政府公認学校法人として発足。生徒数は小学校906名、中学校(日本の高校2年までを含む)650名を数え、教職員等96名。運営母体は1,326名のメンバーをもつ教育事業協同組合(CEGECOOP)。生徒の男女比率はほぼ半々、全体の95%が日系人子弟。日系人運営校としては当国最大。

ニ. 設備概要: 敷地面積12,000m². 事務局棟の他、40教室、工作室4、実験室2、図書館は建設中。体育施設としては、同敷地内(100,000m²)のラ・ウニオン総合運動場を優先使用(サッカー場、野球グランド、プール(25×50m)、トラック)

(2) 隊員の業務内容:

本学園における日本語教師は9名。正式授業の必須第2外国語として週5時間(4月~12月で年間185時間)全員に教えている。1974年以降、白鳥幸子女史(慶応大卒、米国ニュ・カロライナ州立大学院卒。本邦において東京インターナショナル・スクールで10年間外国人に日本語を教えた経験あり。三菱商事勤務の主人に同行して来秘)の指導(無料奉仕)の下に、独自のカリキュラム、教材(わたしの日本語全12冊)を完成。昨年度に国際交流基金の助成を受けて同テキストの必要部数の印刷も完了。他にスライド、かなカルタ、漢字カルタ、カセット・テープを併用し、視聴覚教育に重点をおいて、かつクラスは能力別に7つのカテゴリーに分けて指導。

1. 隊員は日本語教師陣に対する顧問(advisor)として直接的にはその指導に当る。(教師9名は2世が殆んどで正規の教師としての教育を受けておらず、日本語能力、指導法に一層の改善の余地あり)
2. 日本語教師は全員が女性で年令層は25才~56才。主任教師は49才の森本エレナで昨年度国際交流基金主催の本邦での研修コース(1.5ヵ月)参加の経験を有し、日本語教師歴は[illegible]年。
3. 第3国人、日系専門家の配置なし。
4. 使用言語はスペイン語。
5. 日本語の蔵書200冊程度保有。
6. 隊員はその他適宜、日本語の会話クラスに直接参加することも考えられる。
7. 他の日本語教育実施校の教師への指導・助言。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学園の教育方針は"良いペルー人になること。日本文化に誇りをもつこと。"でその目標達成の手段としての日本語教育に力を入れているが、漸く基盤整備の目途が立ち始めた段階で、隊員の協力を得て一層の飛躍を是非実現したいとの強い希望があり、これが軌道に乗ったあかつきには、本学園のモデル校指定を政府より受けて、他校への成果波及にも努力する計画である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒ないし同等の有資格者
2. 日本語教育の経験が3年以上(特に外国人への指導経験を含む)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表　新保昭治

681 理数科教師

記入 昭和 55 年 3 月 3 日

調査者氏名 大崎一七 (大崎)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Science Teacher (日本語) 理数科教師(化学)	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Western Luzon Agricultural College

(日本語): 西部ルソン農業大学

ロ. 隊員勤務先名称: Western Luzon Agricultural College 日本語名称 (西部ルソン農業大学)

所在地: San Marcelino, Zambales 主要都市からの距離 (Olongapo city より 25 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大学教師数 17人, 高校教師数 40人, 非教師数 26人,
大学生 382人, 高校生 1,038人
1979年度予算 ₱ 1,225,000.00 1980年度予算 ₱ 1,257,000.00

ニ. 設備概要: 建造物 32, 教室数(大学・高校) 32, 学生・職員用住宅数 58
水道設備(故障中), Coop Shop, ドミトリー数 5

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 ----- インストラクター
② 技術の範囲 ----- 日本の中学・高校程度の授業と実験が出来ること
③ 業務形態 ----- 主に大学部門で化学と数学または物理を教える
④ 対象者 ----- 13～20才位のフィリピン人生徒と 40～50才位の米国退役軍人
⑤ 利用可能な機材 ----- 今化学実験室は建築中である。かなりのガラス機具と薬品、そしてJOCVより導入した機材がある。実験そのものにはほとんど不自由は無いと思われる(化学について)
⑥ 第3国人 ----- 3月現在、米国平和部隊隊員が2人(インストラクター)
⑦ 使用言語 ----- 英語.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

学長はかなりの親日家で、日本をかなり良く知っている。彼の我々JOCVに対する期待はとても大きい。また、化学教師の不足が深刻で現地教師の負担軽減が期待されている。それらを通じて理科教育の改善・進歩が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学卒以上(理、工農学部等で化学を専攻していること)で化学の他に数学か物理を教えられること
教員免許(無ければ、3ヶ月程度日本の学校で実習するだけでも効果はある)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表　新保昭治

681 理数科教師

記入 昭和 55年 1月 19日

調査者氏名 小野 康直

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Science Education (日本語) 理数科教師(化学)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 55年 10月 派遣予定 56年 2月 受入期限56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Technological University of the Philippines

(日本語): フィリピン工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: College high school　日本語名称 (フィリピン工科大学中等部)

所在地: Manila　主要都市からの距離 (　より　キロ)

ハ. 事業規模及び内容: T.U.P.はフィリピン中のSchool of arts and trades (vocational school)の中心校で多くの卒業生を教師として送り出している。中等部は1年から4年まで各学年2ないし3クラスである。1クラスの生徒数は30名より50名である。

ニ. 設備概要: 校長室職員室のほか7つの一般教室があり実験器具も初歩の中学の実験はほとんどこなせる程度そろえてある。

(2) 隊員の業務内容: 生徒の年齢は13才～16才で男女の比は約男:女=5:1である。化学は3年、4年にわたり履修し、各学年共1週4時間である。化学の教師は1名であるが、化学は現在3クラスしかなく教師不足ではない。しかし実験器具を洗浄したり、管理することはやりたがらないし、又現在使用中の教科書(U.P.S.E.S)についても、まだまだ問題点があり、この二点で今後協力を続ける必要がある。

① 隊員の業務上の地位
　インストラクター
② 技術の範囲　シラバスの改善、教材の手直し、実験装置の充実
③ 業務の形態　授業をしながらカリキュラムの改良及び実験の紹介等を行なう。
④ カウンターパート　1名　U.P.卒3年の教員経験　女性　二十数歳
⑤ 現地で利用できる機材　日本の中学程度の器具薬品等
⑥ 第3国人　いない
⑦ 使用する言語　英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

数学理科の充実が期待されている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

指導経験のある人を望む

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 1月 24日

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール国	(現地公用語) Mathematics, Science Teachers (日本語) 理数科教師	(男) 一人 (女) 一人 (どちらでも可) 5人 (数3, 理2)	訓練開始 55年 4or6月 派遣予定 55年 8or10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education → Regional Directorate of Education → District Education Office

(日本語): 文部省(教育省) → 地方教育委員会 → 郡教育事務所

ロ. 隊員勤務先名称: Secondary school 日本語名称 (高等学校)

所在地: テライ地方を除く山間部(予定) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1971年からの新学校教育制度では、10年教育を基本とし、全課程修了後S.L.C.(School Leave Certificate)試験に合格した者が、専門学校、大学へ進学する有資格者となる。Secondary schoolはそのうち第8〜第10学年の生徒を対象とし、全国に593校、教員数3,947人、生徒数93,651人となっている。(1978年の統計) 文部省で理想とし

ニ. 設備概要: している一教室の生徒数は、secondary schoolで25人。1校当りの教員数は平均6〜7人。なお、Secondary schoolは大別して普通科高校、職業高校、サンスクリット高校となり、普通高校で9科目。学期は2月半ばより開始される。

(2) 隊員の業務内容:

①隊員の業務上の地位: 高等学校教師(数学又は理科)

②技術の範囲: 数学教師は、数学全般の授業(教科書は、第8〜第10学年用のもの)
理科教師は 理科全般(物理、化学、生物)の授業(教科書は第8〜第10学年用のもの)

③業務の形態: 教室での授業が中心となる。1週間のうち、金曜日は半日、土曜日は休みで、45〜50分の授業が6時限。全科目のカリキュラム中、延べ時間にして全体の12%に当る。(数学、理科それぞれ12%。従って理数科で全カリキュラムの1/4を占める)
課外活動も割り当てられる。

④対象者: ネパール人の同僚教師は居るが専門科目が異なるので直接のカウンターパートは期待できない。
生徒は、年齢14〜16歳が正規だが、20歳前後の者も居る。全国的にみると、Secondary schoolでの女子生徒は全体の16%を占めるにすぎない。

⑤現地で利用できる機材: 簡単な物はあるが、教材用の模型、チャート、標本類はない。

⑥第3国人: 全国のsecondary school中、アメリカ平和部隊が70人、英国人ボランティア10数名(英、数、理)

⑦使用する言語: ネパール語、一部英語(専門用語)
訓練言語はネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の教育制度は、前述のとおり10年制でPrimary(小)、Low Secondary(中)、Secondary(高)となっている。就学対象児童のうち、小学校レベルで65%、中・高レベルで20%が通学しているといわれる。いずれも義務教育ではないが、小学校では教科書無料、授業料無料となっていて、中・高レベルでも特に山間部の女子生徒に対しては教科書を無料配布して、女子の就学率を高める方策としている。
現実に、子供を欠かせない労働力として、また女子には教育は不要であるという親の考え(風潮)が根強く残っている。
ネパール人理数科教師の絶対数が少ないことが、外国人ボランティア要請の背景にあるが、一方 文化交流、課外活動への参加も期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(大学卒)(教職経験 2年)
理数科系

(新規要請)